

# 児童生徒の規範意識実態把握プログラム Ver. 1.0

群馬県総合教育センター  
積極的な生徒指導調査研究チーム

このプログラムは、『学校・家でのルールやきまりについてのアンケート』の集計結果を分析し、平成18年度の調査結果と比較することで、自校の児童(生徒)のルールやきまり(規範)にかかわる意識の様子をとらえることを目的に作成しました。  
手順に沿って、プログラムを実行していくことにより、簡単に自校の児童(生徒)の意識の概要を把握することができます。

平成18年度『学校・家でのルールやきまりについてのアンケート』調査の概要  
**<趣旨>**  
学校や家庭には、子どもの規範意識を育み、問題行動を防止するための取組(積極的な生徒指導への取組)が求められている(『児童生徒の規範意識を育むための教師用指導資料集』文部科学省2006)。そこで、子どもの規範意識を育む取組を具体的に推進するための資料として、規範意識や行動に関するアンケート調査と分析を行い、提言に役立てる。  
**<対象者>**  
小学校5～6年生(1051名)、中学校1～3年生(1823名)、保護者(2780名)、教員(324名)  
※アンケート調査の分析結果については、『児童生徒の規範意識醸成のための調査研究』—児童生徒、保護者、教員への実態調査をもとにした提言—報告書及び資料編を参照してください。

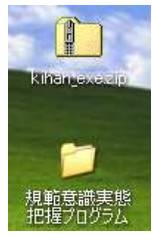
## <児童生徒の規範意識実態把握プログラムVer.1.0 実行手順>

STEP1 総合教育センターのWebページからダウンロードした、zipデータを解凍する。

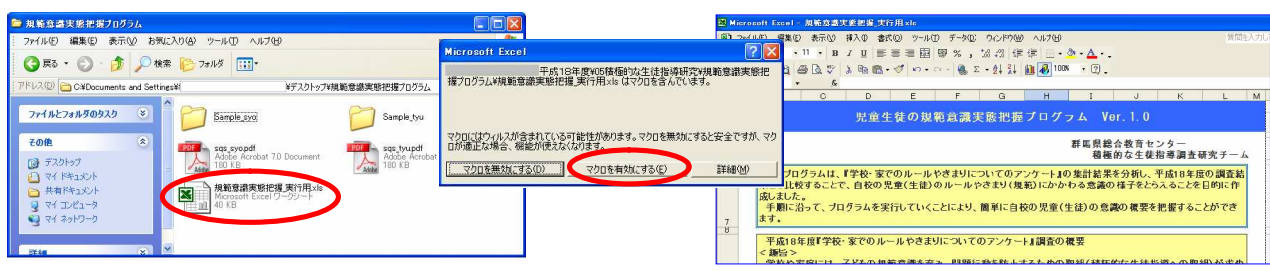


左図のように、デスクトップ等にダウンロードした、**zipデータ(kihan\_exe.zip)**を解凍してください。WindowsXP以降のOSであれば、ダブルクリックするだけで開くことができるので、フォルダ内の「規範意識実態把握プログラム」フォルダをデスクトップ等にコピーしてください。それ以前のOSの場合は、解凍用のソフトウェアを使用してください。

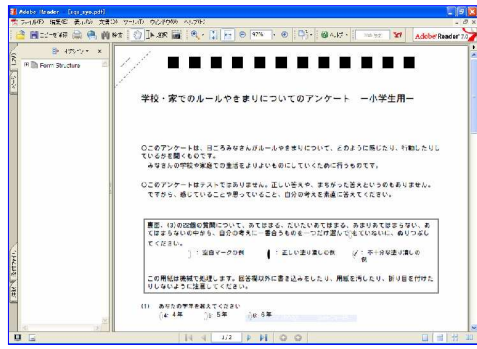
STEP2 「規範意識実態把握プログラム」フォルダを開き、規範意識実態把握\_実行用.xlsを起動する。



「規範意識実態把握プログラム」フォルダ内の**規範意識実態把握\_実行用.xls**を開くと、本手引きと同様のシートが表示されます。表示されたシートの他に、プログラム実行用(青)、csvデータ貼付用(赤)のシートがあることを確認してください。  
Excelのセキュリティ設定の状況によっては、下図のような**マクロの警告**が表示されますが、その場合は「**マクロを有効にする**」をクリックしてください。



STEP3 「規範意識実態把握プログラム」フォルダ内のsqs\_syo.pdf(中学校はtyu\_sqs.pdf)を開き質問用紙を印刷する。



学校種に合わせて、sqs\_syo.pdf(小学校用)、sqs\_tyu.pdf(中学校用)ファイルを開き、印刷してください。SQSシステムにより、スキャナ等を用いて集計する場合には、正確に両面印刷をしてください。  
なお、回答の集計には、SQSシステムの利用を推奨いたしますが、人的な集計による結果を用いても、プログラムを実行することはできます。

※SQSシステムについては、群馬県 学校評価支援システム (<http://sqs.cmr.sfc.keio.ac.jp/gunma/>) のページをご覧ください。

## STEP4 プログラム実行の準備

### a) 質問用紙を手集計する場合

児童(生徒)の回答済みの質問用紙の手集計により、csvデータ貼付シートに、右の図のように数値を入力してください。

No、学年、性別の次の列からが、各質問項目に対する回答になります。

あてはまる(4)、だいたいあてはまる(3)、あまりあてはまらない(2)、あてはまらない(1)というように、児童(生徒)の回答を数値に置き換えて入力してください。

→ 各児童(生徒)の回答を右方向に入力

### b) SQSシステムを使用する場合

児童(生徒)の回答済みの質問用紙をスキャナで読み取り、MarkReaderを用いて、集計を実行してください。

MarkReaderにより作成された、RESULTフォルダを開き、csv-sjis.txt を右クリック→プログラムから開く(H) →Microsoft Excel をクリックし、csv-sjis.txt をExcelファイルとして開きます。



(この方法でうまく開けない場合はExcelを起動し、csv-sjis.txtをドラッグ&ドロップして開いてください。)

開いたシート内のデータから、下の図のように、セルG7~AAO0(回答人数+7)までのデータをすべて選択し、規範意識実態把握 実行用ファイルのcsvデータ貼付シート、セルA6以降に貼り付けてください。

→ SQSシステムにより生成されたcsv-sjis.txtをExcelファイルとして開いた状態

→ csv-sjis.txt から必要な数値を本プログラムのcsvデータ貼付シートに貼り付けた状態

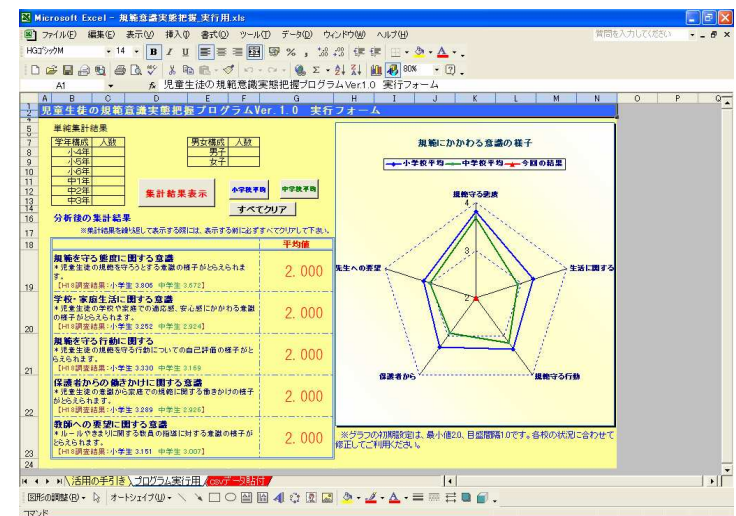
※ Sample\_syo Sample\_tyuフォルダ内に、SQSシステムによる集計結果のサンプルが保存されていますので、プログラムの動作確認にご利用ください。

## STEP5 プログラムの実行

csvデータ貼付シートに児童(生徒)の回答結果を入力できたら、プログラム実行用シートを開きます。シート内にある、集計結果表示ボタンをクリックすると、

- \* 単純集計結果(学年別人数、男女別人数)
- \* 分析後の集計結果(平均値・グラフ作成)

それぞれの作業を瞬時にやり、計算結果を表示します。また、小学校平均(中学校平均)ボタンをクリックし、平成18年度調査の結果から小学校(中学校)の平均値をグラフに描画し、自校の平均値と比較することができます。



<補足・資料>

1. 調査結果の分析について

本プログラムは、平成18年度『学校・家でのルールやきまりについてのアンケート』から得られた回答を統計パッケージSASを使用して因子分析(バリマックス回転)を行い、児童生徒の意識の状況をとらえる手がかりとしました。統計的な処理により、60項目あった質問を22項目に厳選し、ルールやきまり(規範)にかかわる児童生徒の意識について5つの因子を抽出しました。

2. 質問項目別の平均値について

平成18年度調査結果から、全22項目の質問の回答得点の平均値を下表に示します。

学校・家でのルールやきまりについてのアンケート回答平均一覧			
No	質問項目	小学校平均	中学校平均
1	学校での生活は楽しい	3.327	3.156
2	学校のをわざとこわすのはいけないと思う	3.899	3.768
3	放課後は寄り道をしないで、家または学童保育などに帰っている(小) 放課後、または部活動が終わった後、寄り道をしないですぐに家に帰っている(中)	3.618	3.530
4	家の人はあなたに、「人に会ったとき、あいさつをすることの大切さ」、について話してくれる	3.151	2.773
5	友達を仲間はずれにするのはいけないと思う	3.719	3.549
6	学校のもの(いすや机、そうじ用具など)をこわさないよう大事にしている	3.644	3.421
7	家の人はあなたに、「約束やきまりを守ることの大切さ」、について話してくれる	3.399	3.058
8	みんなで決めたルールやきまりにしたがわないのは、いけないと思う	3.674	3.504
9	勉強は好きだ	2.694	2.126
10	約束やきまりを守っている	3.243	3.131
11	先生には、ルールやきまりについて注意するとき、何がどう悪かったのか、分かるように話してほしい	3.561	3.483
12	人をぶったりけったりする(暴力をふるう)のは、いけないと思う	3.724	3.599
13	遊びに行くときには、行き先と帰る時間を家の人に伝えている	3.440	3.015
14	友達の悪口を言わないようにしている	3.028	2.850
15	家の人はあなたに、「友達を仲間はずれにしないようにすることの大切さ」、について話してくれる	3.342	2.950
16	先生に、ルールやきまりについて、自分たちで考える機会をつくってほしい	2.975	2.822
17	小学生(中学生)がたばこを吸ったり、酒を飲んだりするのはいけないと思う	3.885	3.748
18	身の回りの動物や植物をいじめたり傷つけたりしないようにしている	3.545	3.399
19	気がすすまないことや、めんどうくさいことでもとちゅうで投げ出さないようにしている	3.115	2.913
20	家の人はあなたに、「したいことがあっても、ルールやきまりを守ってがまんすることの大切さ」、について話してくれる	3.263	2.922
21	ルールやきまりについての授業や学習を充実させてほしい	2.918	2.718
22	小学生(中学生)が万引きをするのはいけないと思う	3.938	3.865